

第7回 日本交通心理学会認定「交通カウンセラー」養成講座 カリキュラム

(兼 国土交通省認定「第一種カウンセラー」資格要件研修カリキュラム)

平成 28 年 5 月 15 日～6 月 12 日

項目	研修内容	実施時間
1. 事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ① 受講生は、事前に「運転適性診断」を受診し、持参すること ※1 ② テキストを事前に目を通しておくこと ③ 参考図書にも事前に目を通しておくこと※2 	※1国土交通省認定の適性診断実施機関で受診すること。
<p style="color: blue;">第1日目はステップアップ講習会(必須)を兼ねています</p> 第1日目:2016.5.15(日)AM 2. 基本的なリスニングの実習	<ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリングの基礎となる「傾聴」の技術を取得するため、 ・基本的な聴き方(リスニング)の訓練を実習する。 	実習:3時間 09:00～12:00
第1日目:2016.5.15(日)PM 3. カウンセリングの理論に関する事項 <b style="color: red;">国交省研修#3に該当	<ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリングの基本的な考え方について ・傾聴の意義と基本的態度 ・カウンセリングの前提となる考え方、傾聴の基本的態度 等 	座学:2時間/2時間 13:00～15:00
TC 養成講座を受講されない方(SU 必須のみの方)は、ここで終了です		
第1日目:2016.5.15(日)PM 4. 指導及び助言の実習 1 <b style="color: red;">国交省研修#5に該当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な傾聴の技法を取得する ・基本的な聴き方(リスニング)の訓練を実習する。 	実習:2時間 15:00～17:00
第2日目:2016.5.28(土)AM 5. 適性診断一般に関する事項 <b style="color: red;">国交省研修#1に該当	<ul style="list-style-type: none"> ① 適性診断とは ② テストの理解 ③ テストに必要な要件 ④ テストを扱う診断員のあり方 ⑤ テストを通じての人間特性の把握 ⑥ テスト結果の表し方・伝え方と活用効果の発揮 ⑦ 現在、使用されているテストの概要 等 	座学:1時間/1時間 10:00～11:00

第2日目:2016.5.28(土)AM 6. 指導及び助言の手法に関する事項 国交省研修#4に該当	○ 適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの	座学:1時間/2時間 11:00~12:00
第2日目:2016.5.28(土)PM 7. 指導及び助言の実習2 国交省研修#5に該当	○ カウンセリングの基礎となる「傾聴」の技術を取得するため、 ・基本的な聴き方(リスニング)の訓練を実習する。 場面構成や簡単受容、事柄への応答、感情への応答など ・質問を用いて、積極的な聴き方(アクティブ・リスニング)を訓練する ○ 事例検討会実施に向けての諸注意	実習:4時間 13:00~17:00
第3日目:2016.5.29(日)AM 8. 指導及び助言の手法に関する事項 国交省研修#4に該当	○ 適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの	座学:1時間/2時間 09:00~10:00
第3日目:2016.5.29(日)AM、PM 9. 指導及び助言の実習3 国交省研修#5に該当	○ カウンセリング技術の基礎となる「傾聴」の技術を取得するため、 ・基本的な聴き方(リスニング)の訓練を実習する。 場面構成や簡単受容、事柄への応答、感情への応答など ・質問を用いて、積極的な聴き方(アクティブ・リスニング)を訓練する ○ 事例検討会実施に向けての諸注意	実習:5時間 10:00~12:00 13:00~16:00
自宅学習※3 10. 指導及び助言の実習4 国交省研修#5に該当	○ 基本的なかかわり技法の実習 ・基本的な傾聴の技法を用いて、アクティブ・リスニングの訓練を実施。 場面構成や簡単受容、事柄への応答、感情への応答など (音声記録、実施記録、逐語記録の作成)	5/30~6/11の間で 1事例実施

適性診断の受診※1: 養成講座受講生は、運転適性診断を始まるまでに受診しておいてください。ただし、受診される適性診断は、国土交通省認定の適性診断(告示で定められている初任診断等)を受診してください。そして、第2日目の当日必ず持参願います。

参考図書※2: 東山紘久著「プロカウンセラーの聞く技術」創元社 講座の中で感想を聞きます。

自宅学習※3: 受講生は、6/11に実施の事例検討会に提出する事例を実施してください。この際「30分以上」の時間を実施し、音声記録を録って頂きます。また、その音声記録に基づき実施記録(所定の用紙)及び逐語記録を作成していただきます。

資料の配布: 実施記録、逐語記録など講座で必要な資料をデジタルファイルで配布しますので各自 USB メモリを持参して下さい。総容量は約 200KB です。

<p>第4日目:2016.6.11(土)AM 11. 交通心理学に関する事項 国交省研修#2に該当</p>	<p>① 事故発生プロセス ② 事故関連諸要因 ③ 交通行動モデル ④ 理想的な安全運転者</p>	<p>座学:2時間/4時間 10:00~12:00</p>
<p>第4日目:2016.6.11(土)PM 12. 交通心理学に関する事項 国交省研修#2に該当</p>	<p>⑤ 事故多発運転者 ⑥ 安全対策の諸方法 ⑦ 安全対策における適性診断の位置づけと役割 等</p>	<p>座学:2時間/4時間 13:00~15:00</p>
<p>第4日目:2016.6.11(土)PM 13-1. 模擬指導・助言をもとにした事例検討会 国交省研修#6に該当</p>	<p>○ 事例検討会の実施 ・自宅学習にて実施した内容に基づいて指導する。</p>	<p>実習:2時間 15:00~17:00</p>
<p>第5日目:2016.6.12(日)AM 13-2. 模擬指導・助言をもとにした事例検討会 国交省研修#6に該当</p>	<p>○ 事例検討会の実施 ・自宅学習にて実施した内容に基づいて指導する。</p>	<p>実習:3時間 09:00~12:00</p>
<p>第5日目:2016.6.12(日)PM 14. 指導及び助言の実習5 国交省研修#5に該当</p>	<p>○ 基本的なかかわり技法の実習 ・基本的な傾聴の技法を用いて、アクティブ・リスニングの訓練を実施。 場面構成や簡単受容、事柄への応答、感情への応答など</p>	<p>実習:3時間 13:00~16:00</p>
<p>国土交通省認定第一種カウンセラー資格要件研修のカリキュラムは、ここで一部を残して（#5の15事例）終了となります。これ以降、自宅学習にて「指導・助言の実習（#5）」の15事例を実施した後、日本交通心理学会と提携している適性診断認定機関（当日指示致します）に提出してください。「#5の15事例」と「全過程の出席」を確認でき次第、順次「第一種カウンセラー資格要件研修修了証」を発行いたします。 ただし、交通心理士補の資格で受講の方は、交通心理士の資格が取得できてからの修了証の発行となります。</p>		

なお、以上のカリキュラムは、研修の進行具合により一部変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

参考：国土交通省 第一種カウンセラー研修（別表第三 第六条関係）

研修項目	内容	時間
(#1) 適性診断一般に関する事項	適性診断の趣旨、内容等に関するもの	1 時間
(#2) 交通心理学に関する事項	交通心理学による交通事故の要因分析、安全対策等に関するもの	4 時間
(#3) カウンセリングの理論に関する事項	カウンセリングの定義、カウンセリングの特質、カウンセリング理論、小集団活動等に関するもの	2 時間
(#4) 指導及び助言の手法に関する事項	適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの	2 時間
(#5) 指導及び助言の実習	指導及び助言の実習を行うことにより指導及び助言を行う能力を習得するもの	1 5 事例
(#6) 模擬指導・助言をもとにした事例検討会	研修員が行った模擬指導・助言に係る面接の記録をもとに、受診者の心理を理解する方法、面接の実施方法等を習得するものであって、参加する研修員が十二人以下であるもの	研修員 1 人 1 事例以上で、合計 3 事例以上

#6の事例検討会は、研修員（第一種カウンセラーの資格がなく、これから取得しようとする研修参加者）一人1事例以上で、3名以上12名以下で実施すること。